臨床及ビ實驗

根管充填用「ガッタパーチャー
ポキント」ノ消毒及ビ保存

醫學博士 沖野節三

Desinfektion und Erhaltung des Guttaperchastiftes für die
Wurzelfüllung.

Von Prof. Dr. Setsuzo Okino.

根管充填材トシテ「クロロパーチャー」「ユーカパーチャ」諸種糊劑、或ハ金屬粉末等ガ種々應用サレテ居ルガ、何レヲ使用シテモ、根管充填材ノ中軸トシテハ現在「ガッタパーチャーポキント」又ハ象牙圓錐ガ一般ニ賞用サレテ居ル。然シナガラ在來此等ノ「ポキント」ヲ消毒シ又ハ消毒保存スルニ簡便適當ナ器ガ無カツタノデ臨床家ハ使用ニ際シテ應急ニ一々消毒シナケレバナラナカツタノデ甚ダ不便デアリ、又不本意ナガラ消毒不全ニ陷ツテ治療障礙ヲ招ク例モ報告サレテ居ツタ。此等「ポキント」ハ必要ナ時ハ何時デモ使用シ得ルヨウニ日頃カラ「ポキント」ヲ完全ニ消毒シ保存シテ置ク事ガ重要デアル。ソコデ余ハ次ノ様ナ構造ノ瓶ヲ考案シタ。

構造 本瓶ハ總硝子製デ第一圖縱斷側面圖及ビ第二圖其ノ分解圖ニ示ス如ク容瓶(1)中皿(2)及ビ蓋(7)ノ三部分カラナリ、容瓶ノ底ニハ支柱(2)アリテ其ノ底ト中皿トノ間ニ少シ間隙(3)アリ、中皿ノ周縁ハ容瓶ノ内壁ニ密接ス。中皿ニハ三區ニ仕切ル可キ劃壁(5)アリ各仕切り底面ニハ數個ノ小孔(6)ヲ穿チ前記間隙(3)ト通ズ。蓋ハ容瓶上縁ニ對シテ密封完全ナルヨウニ削リ合シタノデアル。

消毒保存法 容瓶(1)ノ底ト中皿(4)トノ間隙(3)ニ消毒藥「フオルマリン」液少量ヲ數枚重ネタ「ガーゼ」又ハ綿花ニ濕シテ介在セシメテ、其ノ上ニ中皿(4)ヲ適合シテ中皿ノ三ツノ仕切り内ニ消毒セントスル「ガッタパーチャーポキント」ヲ其ノ太サニヨリ太イモノ、細イモノ及ビ中ノモノ三種類ニ分ケテ各仕切り内ニ入レテ蓋(7)ヲ被フテ容瓶内ニ密封スル。然ウシテ一日放置スレバ蒸散スル「フオルマリン」瓦斯デ「ポキント」ハ容易ニ然カモ完全ニ消毒サレル。斯ノ如ク「フオルマリン」浸漬「ガーゼ」ヲ密封シテ消毒兼保存スルモ良シ。

若シ使用時「フオルマリン」瓦斯ノ刺激性臭氣ヲ嫌フナラバ豫メ前記ノ如ク「フオルマリン」

第一圖

第二圖

蒸氣デ完全ニ消毒シタ後「フオルマリン、ガーゼ」ヲ除イテ中皿上ノ「ガッタパーチャーポイント」ガ浸漬セラル、程度ニ容瓶中ニ70%「アルコール」或ハ「ヨード」丁幾ヲ充タシテ蓋ヲ被フテ密封保存スルモ良ロシイ。「ヨード」丁幾ハ暗色デアルカラ「ポイント」ノ太サヲ見別ケルニハ不便デアルガ「ポイント」ガ硬クナツテ使用シ易クナル便モアル。カクスルト消毒保存藥液ノ蒸散スル事モナク長ク「ポイント」ヲ保存スル事が出来テ甚ダ便デアル。

マジト一氏齒齦膜ノ形態學的知見補遺

九州帝國大學醫學部齒科口腔外科教室

高山久三郎
中島方衛

Beitrag zur Morphologie des Wurzelhautes nach Magitott.

Von Dr. Kyusaburo Takayama und Dr. Hoe Nakashima.

吾人ハ無齒顎ト云ヘバ、直チニ老人及ビ初生兒ノ口腔ニ聯想ス。然ルニ同ジ無齒顎トハ云ヘ、兩者ノ間ニハ劃然タル種々ノ相異點ヲ認メ得ベシ。齒齦膜モ其ノ一要素ナリ。

余等ハ毎年五月九大小兒科教室ニ於テ行ハル、赤ン坊審査會ニ於テ、多數ノ小兒口腔ノ審査ニ當リ、齒齦膜ノ出現頻度並ニ消長ガ生後日數或ハ乳齒出齦相ト極メテ密接ナル關係ヲ有スルヲ認メシニヨリ、此處ニ精密ナル觀察ヲ行ヒ其ノ結果ヲ報告ス。

抑マジト一氏皺襞 (Magitosche Falte) 或ハ齒齦膜 (Membrana Gingivalis) ナルモノハ、マジト一、ロビン、プフアンドラー、デベンドルフ、諸氏ニヨリ考究セラレシモノニシテ、屢々初生兒ノ上下顎ノ、將來切齒並ニ犬齒ノ萌出シ來ル可キ部分ノ齒齦遊離縁ニ沿ヒ縦走スル低キ膜様ノーツノ粘膜ノ肥厚物ナリ。約1.3 耗ノ高サヲ有シ、外見水泡様ヲ呈シ、血管ニ富ミ、哺乳時腫脹シテ乳頭ヲ堅ク把握スルノ用ヲナスト稱セラル、モノナリ。又マジト一氏ニヨレバ下顎ニ於テ著シト。

余ハ主トシテ九大小兒科教室ニ於テ行ハレシ昭和7年度並ニ8年度赤ン坊審査會ニ於テ